

春のファン感謝祭

3月17日(日)

●ウォークラリー「到津よかところドリ」

ラリーカードを持ってイベントに参加し
シールをもらえると、枚数に応じて景品が！

イベント
もいたくさん！
会員様は
さらにお得！！

【南北両ゲートでラリー冊子を配布】※対象イベントは下の12イベント

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| ①10:00～ 13:00～ メガテン！ゲーム | ②11:00～ 飼育員のお話1 |
| ③11:30～ トラの宝探し | ④12:00～ 飼育員のお話2 |
| ⑤12:30～ 飼育員のお話3 | ⑥13:00～ 飼育員のお話4 |
| ⑦13:30～ バードケージのごはんの時間 | ⑧14:00～ 飼育員のお話5 |
| ⑨14:30～ ゾウのまちがい探し | ⑩15:00～ 飼育員のお話6 |
| ⑪15:15～ モルモットレース | ⑫15:30～ 飼育員のお話7 |

●MONKEY VILLAGE (モンキービレッジ)

飼育員が丹精こめてつくったグッズを多数販売！

ここでしか手に入らない！

10:00～12:00 / 13:00～16:30 ※個人会員は会員証の提示で割引あり

【里のいきもの館 レクチャールーム横にて】

※18日以降、ファン感謝 WEEK 中もチンパンジーガラスビュー前
(20日は里のいきもの館)で 11:00～12:00、13:00～16:00 に販売

●ボランティアによる「ネイチャークラフト」

木の実や枝などを使って簡単な工作を楽しもう！

10:00～15:00 ※1個 200円(個人会員1個無料)

【ふれあい動物園内 ウサ・モルハウス周辺にて】

詳しくは、HP もしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問い合わせ下さい。



森のお便り 3月号

2013年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」13年3月1日発行 通巻121号

3月2日(土)～3月31日(日)

※期間中は毎日開園(3～5月は無休)

日差しが暖かくなり、春はもうすぐそこまできています。
園内では、約100本のミモザが花をつけ、
当園は九州最大級のミモザの公園になります。
特に広大な芝生広場があるサバナ付近は、
黄色いミモザのカーテンに覆われます。
フェア期間中は、いろいろなイベントを開催します。

●恋の動物ラリー

期間中の日曜日・祝日 9:00～17:00

南北両ゲートで冊子配布 ※カップル対象

ラリー冊子を手に園内を巡り、
二人で協力しながら挑戦するラリー。
完走後には記念品をプレゼント！



●いとうづ ZOO×クイズ

3月3日(日)・10日(日)・24日(日) 各日 14:00～14:30

ふれあい動物園休憩所テラス(2階デッキ)

到津の森公園について、あなたの豆知識を試してみませか？
みんなでO×クイズに挑戦してもっと「いとうづ」に詳しくなろう！

☆花ガイドの配布☆

フェア期間中は、ご希望の方に園内の植栽情報が満載の花ガイドチラシを両ゲートで配布します。
ぜひ保存いただき、季節ごとに違った顔を見せる当園内の植物もどうぞお楽しみください。

ミモザフェア
恋する動物たち

森の仲間たち



「到津の森公園」公園事務所
北九州市小倉北区上到津 4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>

木偏に春の椿。園内「郷土の森林」の様々な品種のツバキが満開に近づく頃、動物ゾーンはにごりのない黄色の花のミモザに埋もれます。

ご存知のとおりマメ科の、総称ミモザ達、つまりギンヨウアカシア・フサアカシア・モリシマアカシア(花期は初夏)は、オーストラリアからやって来て、エキゾチックなムードで南国出身の動物を引き立てています。その他にもパンパスグラス・イペ・マキバブラシ・アメリカフウ等、世界中からやって来た木々の元気な姿が見られる動物ゾーン。

その中でもひと際南国ムードを漂わせているのがヤシ科の仲間たちでしょう。ライオン舎前からゾウ舎・トラ舎前を歩くと様々なヤシ科植物があらわれます。黒いネームプレートを参考にたどってみましょう。

①ヤタイヤシ(南米原産)は、高さ5m。羽状の大きな葉は弓のように反り返り“タメ”をきかせたように少しねじれて、姿がよく南国風庭園のメインとして愛されています。

②ワシントンヤシ(北米原産)は、最大30mにもなる壮大なヤシ。別名オキナヤシの由来は四方に広がる掌状の葉が枯れても落ちずに垂れ下がった姿を「翁」に見たてたもの。

③カナリーヤシ(アフリカ原産)は、あの宮崎の県木として有名なフェニックス。太い幹は10~20mとなりぐるりと環状紋があり目印となっています。

④その他、実が食用になるナツメヤシ(ペルシャ原産)、シュロ(中国南部原産)、シュロチク(日本)等が見られます。

ところでヤシ科といえば青島に自生するビロウが風上に頭を向けて林立する姿はとても印象的です。北部九州では自生しないこの熱帯植物が沖ノ島の標高150m以上の地点には自生していると聞き、対馬暖流のパワーはそんなにすごいのかと驚きです。

「一木一草もち出す事ならず」「女人禁制」の掟で守られ続ける沖ノ島の神秘。素晴らしい。

それに較べれば「到津の森公園」の植物達は誰でも触ったり嗅いだりできる親しみやすさが魅力です。リラックスリラックス。

3月末には、いよいよお花見ですよ！

文：花咲くおばさん

花暦 弥生

森の仲間たち・ミーアキャット

サバンナの小さなギャングことミーアキャット。

昨年10月、彼らに新しい家族が増えました。

そうです！！赤ちゃんが産まれたんです！！名前は『テンテン』ちなみに男の子です。

産まれたばかりの彼は片手で包めてしまうほど小さかったので、「チビタ」と呼ばれていましたが、今ではたまに兄姉と見間違えてしまうくらいにまで大きく成長しました。

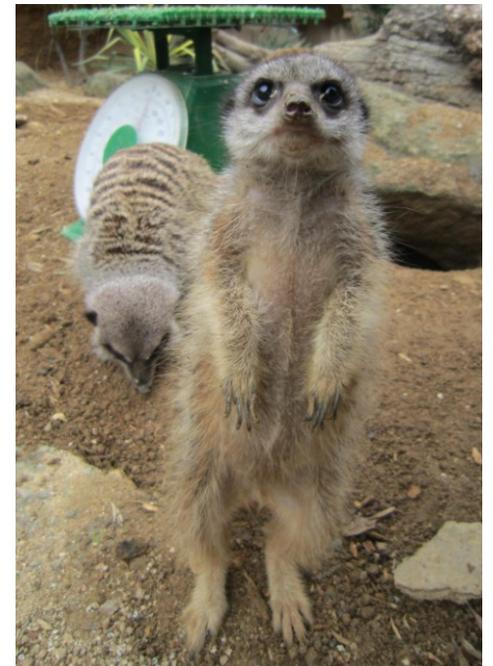
つい最近展示場デビューし、天気の良い日は家族みんなでひなたぼっこしたり、寒い日には仲良く丸まったりと、ちゃんと家族の仲間入りをしています。

そしてお姉さんのセンにどうやら弟子入りをしたみたいで、常に後ろを付いて歩いている姿はとてもかわいらしい！！

新たに家族が増え、今は5頭になったミーアキャット家族。

いつか『テンテン』にも弟や妹ができて大家族になる日も遠くないのかもしれませんがね。

ぜひ皆さん、どんどん成長していく『テンテン』に会いに来てください！！



飼育展示係 川口 莉穂